

第14号

有機健康 つうしん

遠赤青汁通信 (H21.8.1 発行)

新しい農地から新しい力が
生まれ、育っていきます。

遠赤青汁株式会社

〒791-0398 愛媛県東温市則之内甲2225-1
TEL フリーダイヤル **0120-148-162**
ホームページ <http://www.enseki.com>

農地再生事業が今、注目されています！

百年に一度と言われる不況の中、企業の社会的責任(CSR)が問われています。

遠赤青汁(株)は、社是に「医食同源社会の実現を目指す」と掲げ、地域における企業の取組として、放置農場を開墾し、農地に戻す「農地再生事業」を進めてまいりました。

「農地再生事業」は二〇〇二年よりスタート。再生して有機圃場として認定された土地も広がりました。



何メートルも伸びた雑木をユンボで倒していきます。社長と比べてもその大きさがわかります。



開墾作業には、普段事務をしているメンバーも駆り出されています。木の株を三人がかりで運びます。



伸びた蔓がなかなか抜けません。汗だくになりながらも草木をはらっていきます。

全国の耕作放棄地は、約三十八万ヘクタール(二〇〇五年農業センサス調査・農林水産省)で、愛媛県は五二五四ヘクタールです。県内全耕地面積に占める耕作放棄地の割合は十一・五パーセントに上り全国七位、四国では一番耕作放棄が高くなっています。

遠赤青汁(株)は、いち早く耕作放棄地の再生に着手し、継続して農地再生に寄与しています。その実績はメディアでも取り上げられ、当初県内だけの報道でしたが、全国版でも急遽放送されるなど注目されています。

今後も、耕作放棄地増加に歯止めをかけるべく、農地再生事業推進により一層努力してまいります。
(代表取締役 高岡照海)



百貨店で営業をしている天羽も力を振り絞ってエイヤッ！腰痛にならなければいいのですが...

桜物語

さくら
ものかたり

トルコの桜、咲きました

トルコに植樹に行ったのは平成十七年十月でした。高速道路のインターチェンジの間に作られた公園に、エルツールル号遭難で亡くなられた方達への追悼として、五八七本の陽光桜が植えられました。



あれからもつ四年。ようやく桜が大輪を咲かせるようになりました。定期的に、現地からは桜の情報が送られてきており交流は続いています。(植樹は有機健康つうしん3号でご紹介しました)

桜の咲き方が少し違いますね。気候が違うからでしょうか。遠いトルコの地に根付いたのは二〇〇本ほど。途中三〇〇本が枯れ、新しく贈られました。平和の願いと共に、咲き続けてほしいものです。

ベトナムの桜、その後



日本大使館前の大通りに桜の木が植えられています。

昨年、十一月にベトナム、ハノイの日本大使館前に植えた陽光の苗木が、無事に根付いたとメールが入りました。花を咲かせるまでには、まだ数年かかると思いますが、ベトナムの気候に慣れてこのまま順調に育ってほしいですね。平和の想いをのせて、陽光桜は世界で花開いて行きます。

日本さくら交流協会

<http://sakura-yoko.org/>



農地再生に挑む

にんにくの芽の収穫は4月中旬から始まりました。植えた時期が圃場毎に違うので、芽の成長も違ってきます。毎日見回って確認していました。

いわゆるにんにくの芽は、長く伸びた芽の途中から葉の付け根までを言い、そのサイズも出荷時には必要です。出荷に合うサイズになっているか確認しながら1本づつ手で折って集めていきます。

芽を葉の元から手で折る時に、汁が出ますが、手先が荒れることに気がついて、慌てて手袋をはめることに。にんにくは生命力の強い野菜です。折った時に出る汁にも強さがありますね。生で触れるとその強さです。



にんにくの芽を摘み取る作業を行っています。

摘み取る時に汁が出ます。この汁が強くて手袋をしないと手をやけどした様になってしまいました。



にんにくの芽には「愛媛産」「有機栽培」と大きく表示されています。もちろん、有機JASマーク付。



にんにくを収穫する前に、葉を刈ってからマルチを剥いていきます。



機械で掘り起こした後、拾い集めてキャリアに詰めっていきます。この後、乾燥室に運ばれていきます。

「農地再生に挑む」では、放置された農場を再生し、有機圃場として生まれ変わる様子をシリーズとしてお伝えしています。

収穫された芽は、長さを揃えてカットされ、透明の袋に入れられます。生モノの出荷は初めてだったので、ドキドキしましたが、無事に関東の市場に届けられました。有機のにんにくの芽は、市場でも珍しく、関心も高かったようです。



土の中から掘り出したばかりのにんにく。土汚れが外側の皮を剥いて見ると、おなじみの白い皮が見えます。

にんにくの芽が固くなると、そろそろにんにく本体の収穫が近づいてきます。葉を伸ばしたままだと、栄養がいつまでも葉に回ってしまいます。土の中で育つ玉に栄養が集中し、葉が枯れてくると収穫期です。

黄色くなった葉をカットして、土を覆っていたマルチをはがします。畝の土を直に触てみたのですが、やわらかく温かい感じがしました。土がにんにくを守ってくれています。

思い起こせば、種にんにくを植える時に、深さが均等になるように注意しました。収穫の際には、にんにく専用の掘り取り機を使用します。深さが一定になっているので、作業もスムーズに行えました。植える時に収穫の事を考える。こうした工夫が大事です。

にんにくの収穫は5ヘクタールを超える圃場をひとつひとつ全部掘り起こしながら進みます。収穫期間中は、日曜日もなく続けられました。野菜の成長は人間の都合を待ってくれません。

キャリアに詰められたにんにくは、乾燥して保存し、市場に出荷されたり加工されたりしていきます。愛媛産、有機にんにくがお住まいの地域に登場する日も近い？よろしくお願ひします。

木下さんの

ゆづきの話

「生命力の強いにんにく」



有機のにんにくの収穫を取材していると、にんにくの芽が伸びすぎて途中で花が咲いたものに、目が止まりました。



ぷっくりと途中が膨らんで、触るとなにやら「コココ」した感じが、ん？これって？

「木下さん、これ花が咲いた後ですか？」

にんにくの芽は出たばかりのものを収穫し、その後伸びたものは固くなるので、売りものにはなりません。そのまま放置することになるのですが、伸びた芽の途中に花が咲き、こんな膨らみができるのです。

「この中に育っているのがなんと、「こん」。」

「にんにくは、土の中にも育ちながら、土の上でも育つ。あっちもこっちも実をつけるんよ」（木下）

子孫繁栄と言っか、ひとかけらの種から土の中に8片、葉の途中にもまた何片かの実を育てます。なんとも生きる事に貪欲、欲張り野菜ですね。

「にんにくくらい、根性入れて頑張ればええ仕事ができるけどなあ。ちゃんと働かんと、にんにくに負けてしまっよ（笑）」
圃場には今日も木下さんの厳しい儼が飛んでいます。

EVENT

「アグリフードEXPO2009大阪」 「健康博覧会2009」 に出展してきました。

2月に大阪（ATCアジア太平洋トレードセンター）で開催されたアグリフードEXPO大阪に出展しました。国産農産物や畜産物、その加工品を紹介する展商商談会です。



遠赤青汁は、有機ケールを使用した青汁商品に加え、収穫をまじかに控えた有機にんにくの紹介をさせていただきました。

「有機JAS」の商品だけを探しにいられたバイヤー様や、参考出品の黒にんにくに興味をもたれるお客様も多く、安心・安全にこだわりの熱気を感じました。いよいよにんにくも初めての収穫を迎えています。展示会でもどんどん紹介していきたいと考えています。会場で見られた方は、ぜひそのこだわりを確認してほっと願います。



健康博覧会は読んで字のごとく「健康」をテーマとした展示会です。遠赤青汁は3つの「健康」をアピールしました。

まず「ケール」。大学との研究成果をパネルや資料でお客様へ説明させていただきました。その製法や成分にも関心を持つ方が多いように感じました。

「にんにく」も人気が高く、試作の黒にんにくも好評をいただきました。今年9月の発売予定ですが、早くほしいというありがたい要望を多くいただきました。展示サンプルを試供品と間違われ、持って行かれる一幕もありましたが・・・。

そして「石けん」。その泡もちとスベスベ感ほひとだかりができるほどの人気で、女性陣に囲まれて説明にも熱が入ります。

来年の健康博覧会も出展します。皆さんのご来場をお待ちしております。

ENSEKI ECO

エネルギーを考える！ 電気自動車試乗会に参加

四月一日から、電気自動車をはじめ工口関連の補助金制度がスタートしました。

電気自動車の場合、ハイブリッド車を含めて購入時の税金が免除になったり、地域によって補助金が交付されたりとお得な事もあり、注目されています。

大手自動車メーカーのハイブリッド車も発売から数週間で何万台もの予約が入るなど、人気も高いようです。ガソリンが高騰し、生活の足である車の維持も大変になっています。今後はこうした燃料に注目した車が増えつつあると見られます。

遠赤青汁(株)のある愛媛県東温市も、省エネルギーギブジョンを策定し、地域をあげて対策に努めています。当社もこの機会に、エコを考えようと社内で提案を募集。電気自動車を導入しては？との発案に、試乗会へ参加してきました。

電気自動車の走行距離は約160キロ。主に近距離の移動に利用してはと考えています。



体験してみても思ったのですが、パワーもあり、音も静かでびっくりしました。まだまだ目新しさが先行しますが、エコを形にする新しい取り組みとして導入を目指したいですね。

四国八十八箇所・八十四番札所 屋島寺 (やしまじ) 香川県

天平年間、鑑真和上が唐から来朝した際に、屋島の北嶺に開いた寺がはじまりとされています。後に弘法大師が南嶺の現在地に寺院を移し、十一面観世音菩薩を刻んで本尊としたそうです。寺のある屋島は標高282mの溶岩台地で、源平の古戦場など観光名所も多く、今ではケーブルやドライブウェイも整備されて、観光客でにぎわっています。

■太三郎狸

ここ屋島寺の本堂の隣には大きな狸夫婦の像が建っています。夫は太三郎狸という四国狸の総大将で、佐渡の三郎狸、淡路の芝衛狸とともに「日本三名狸」に数えられています。

鑑真和上や弘法大師の道案内を努めたり、屋島合戦の模様を源平の兵に化けて歴代の住職に見せたりと数多くの伝説を残しているそうです。

近代になっても活躍していたようで、日露戦争に仲間を引き連れて出陣し、乃木將軍の危機を救ったというエピソードがまことしやかに残されています。現在、太三郎狸は「叢山大明神」として、商売繁盛の神様として崇められており、狸が一夫一婦制の動物であることにちなんで、縁結びや夫婦円満の神様としても信仰を集めています。



狸の置物に、嬉しくて思わず駆け出す？(パリッとまるごとモデルの太揮君)



おたより広場

遠赤青汁製品をご愛用の皆さまからうれしいおたよりが届いています。



青汁で元気に育ちました!

鹿児島県 F様

娘は8ヶ月、未熟児(1862g)で生まれましたので、離乳食は絶対に失敗できない、しかし野菜はなかなか食べてくれないと言う時にタイミングよく百貨店で営業の鶴さんに「青汁をミルクに混ぜてみては」というアドバイスをいただきました。試行錯誤しているときでしたので、とても助かりました。

あれ以来、ずっと遠赤青汁のファンです。一度切らしてしまった時に薬局で別の青汁を買った事があるのですが、娘は一口飲むなり「グリーン、グリーンは?おいしくない!これ嫌!」と言い出し、幼い子供の味覚に驚かされました。

今では順調に成長し(現在3歳7ヶ月です)、毎朝青汁を飲んでから保育園へ通っています。お風呂上がりの青汁も欠かしません。体重・身長とも平均以上です。

あの時、青汁に出会えたおかげだと感謝しています。これからも母娘共々よろしく願います。本当にありがとうございました。



青汁大好き♪お嬢様の笑顔がとても嬉しいですね。私共も元気をもらいました。これからも皆様の笑顔が広がるような製品づくりに努めて参ります。ありがとうございました。

お便り大募集!!!

皆様からのお便りを募集しています。青汁商品に関するご意見、ご感想、ご要望など。また日々の出来事や感動した事などをお寄せください。

イラストや写真も大歓迎です!

採用させていただいた方には粗品を進呈させていただきます。

おたより広場

にメッセージをお寄せください!!

〒791-0311 愛媛県東温市則之内甲2225番地1
遠赤青汁株式会社
有機健康つうしんおたより広場 係あて
mail:aojiru@enseki.com ※お寄せいただいたお便り等は、その他の目的で使用することはありません。

経済産業省「IT経営実践認定企業」に2年連続で選ばれました。



IT経営実践認定企業

遠赤青汁株式会社は、「IT経営実践認定企業」に平成20年、21年と2年連続で選ばれました。(連続受賞は全国で22社)。

中国四国ブロックの代表として表彰を受ける栄誉を賜りました。



会場のモニターに映し出される、遠赤青汁(株)

中小企業

「IT経営力大賞」とは・・・

経済産業省が関係機関の共催・協力のもとに主催する平成十九年度に創設された表彰制度。優れたIT経営を実現し、かつ他の中小企業がIT経営に取り組む際の参考となるような中小企業や組織に贈られています。

新商品

酵素を加えた新しい遠赤青汁です!

愛媛県東温市近郊で有機栽培されたケールに、ヨーグルト・有機納豆・酵母菌を有機黒糖で発酵培養した酵素液をブレンドしました。



遠赤青汁V1 GOLD

500粒ビン ¥7,350
1,250粒ビン ¥15,750
1,250粒詰替 ¥14,700

有機遠赤ケール GOLD

100g ¥4,410
2g×30包 ¥3,990

有機ケール + 酵素液